

# 平成30年度 国立国会図書館職員採用試験案内

## 情報システム・設備専門職員採用試験(大卒程度試験)

受験資格	1. 平成元年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた者 2. 平成10年4月2日以降に生まれた者で次に掲げるもの a. 学校教育法による大学を卒業した者又は平成31年3月までに卒業する見込みの者 b. 学校教育法による短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又は平成31年3月までに卒業する見込みの者 c. 館長がa又はbに掲げる者と同等の資格があると認める者
受付期間	4月1日(日)～4月20日(金)(消印有効) 特定記録郵便による <u>郵送のみ</u> (持参不可)
第1次試験	【専門試験(記述式)、小論文試験】  6月16日(土)  試験会場：東京大学教養学部(東京都目黒区駒場3-8-1)
	合格者発表 7月20日(金)
第2次試験	【人物試験(個別面接)】  7月30日(月)～8月3日(金) のうち指定する日  試験会場：国立国会図書館東京本館(東京都千代田区永田町1-10-1)
	最終合格者発表 8月10日(金)以降
採用予定数	若干名

次のいずれかに該当する者は、本試験の受験資格がありません。

- (ア) 日本の国籍を有しない者
- (イ) 国会職員法(昭和22年法律第85号)第2条の規定により国会職員となることができない者

※ 受験資格の詳細は当館ホームページ「採用情報」(<http://www.ndl.go.jp/jp/employ/index.html>)を御確認いただくか、国立国会図書館総務部人事課任用係[03-3506-3315(直通)]へお問い合わせください。

## 国立国会図書館情報システム・設備専門職員採用試験（大卒程度試験）

本試験は、国立国会図書館の職員を採用するもので、人事院の行う国家公務員採用試験とは別に国立国会図書館が独自に実施している国家公務員採用試験です。

職務内容は、情報システム（アプリケーション開発、ネットワーク及びハードウェア設備等）及び設備機器に係る企画・調達・維持・管理業務、図書館システムに係る調査研究業務並びに当該専門的知識を必要とする業務です。

### 受験申込手続

(1) 当館職員採用試験の申込み

申し込むことができる試験の種類は、総合職試験、一般職試験（大卒程度試験）、資料保存専門職員採用試験（大卒程度試験）又は情報システム・設備専門職員採用試験（大卒程度試験）のうち1種類に限ります。（同じ年度において受験できる試験の種類は1つのみです。）

(2) 提出書類

〔印刷版を使用する場合〕

受験申込書（当試験案内に添付のもの） 1部

記入要領（p.5、6）を必ず参照し、必要事項を漏れなく記入の上、写真及び62円切手を指定箇所に貼ってください。

〔国立国会図書館ホームページからのダウンロード版を使用する場合〕

受験申込書、写真票及び受験票 各1部

記入要領（p.5、6）及び国立国会図書館ホームページに掲載の「ダウンロード用書類作成・提出要領」を必ず参照し、必要事項を漏れなく記入の上、写真を指定箇所に貼ってください。受験票には必ず通常はがき（62円）を使用してください。

（[http://www.ndl.go.jp/jp/employ/h30\\_download\\_manual.pdf](http://www.ndl.go.jp/jp/employ/h30_download_manual.pdf)）

**\*必要事項の記入漏れ、貼り忘れは申込みが無効となることがあります。**

(3) 申込方法

受験申込書の提出は郵送に限ります。郵便局の窓口で、特定記録郵便扱いとし、封筒の表に、「情報システム・設備専門職員採用試験（大卒程度試験）受験申込書在中」と朱書してください。また、封筒の裏面に申込者の住所及び氏名を明記してください。なお、郵送手続時に受け取った控え（特定記録郵便物受領証）は、受験票が到着するまで必ず保管してください。

**宛先：**〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1  
国立国会図書館総務部人事課任用係

(4) 受付期間

平成30年4月1日(日)から平成30年4月20日(金)（消印有効）まで

(5) 申込受付後の流れについて

- ・受験申込書受付後、順次、受験票を郵送します。なお、4月27日(金)までに受験票が到着しない場合は、国立国会図書館総務部人事課任用係〔03-3506-3315（直通）〕まで必ずお問い合わせください。問合せなく、受験票を持参せず試験会場に来て受験できない場合があります。

(6) 受験に際し、身体に障害があるため何らかの措置（着席位置の指定、車椅子の使用、補聴器の使用等）を希望される方は、受験申込時に希望する措置の内容を申し出てください（事前の許可が必要です）。

## 試験の方法

試験	試験種目	内 容	時 間
第1次試験	専門試験 (記述式)	工学（電気、電子、機械、情報から受験時に 1分野選択）についての筆記試験	60分
	小論文試験	与えられた課題についての小論文（600字）	30分
第2次試験	人物試験	個別面接（人物評価）	
		個別面接（技能評価）	

- \* 第1次試験合格者の決定は、専門試験（記述式）の成績により行い、小論文試験は第2次試験における評定に用います。
- \* 第1次試験の際、質問紙法による性格検査を行い、人物試験の参考とします。

## 合格者発表

	日 時	方 法
第1次試験 合格者発表	平成30年7月20日(金) 午前10時	合格者の受験番号を、国立国会図書館東京本館 外部総合案内板（利用者入口南側）及び国立国会 図書館関西館西口に掲示するほか、国立国会 図書館ホームページ（「採用情報」のページ） に掲載します。 合格者には郵便で通知します。
最終合格者発表	平成30年8月10日(金) 以降	第2次試験の受験者全員に合否通知を郵送しま す。また、国立国会図書館ホームページ（「採 用情報」のページ）に合格者の受験番号を掲載 します。

## 採用・待遇等

### (1) 採用年月日

原則として、平成31年4月1日

### (2) 身分

国会職員（特別職国家公務員）

\*勤務条件等は一般職国家公務員とほぼ同様です。

### (3) 給与

平成30年度国立国会図書館職員採用一般職試験（大卒程度試験）により採用される職員と同等です。

初任給（平成29年度 例）

行政職給料表（一） 1級25号給（179,200円）

（参考）東京都特別区内に勤務する場合の地域手当加算後の額 215,040円

\*国会職員の給与等に関する規程に基づき、期末手当、勤勉手当、扶養手当、住居手当、通勤手当等が支給されます。

### (4) 官署及び勤務地

#### ア 東京

国立国会図書館東京本館 東京都千代田区永田町1-10-1

国立国会図書館国際子ども図書館 東京都台東区上野公園12-49

#### イ 京都

国立国会図書館関西館 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3

この採用試験により、国立国会図書館職員として採用し、上記いずれかの官署に配属します。国立国会図書館として一体となった業務・サービスを行うため、官署間の異動、東京と京都の間の転勤があります。

### (5) 昇任

昇任の基準は原則として人事院規則に準じます。

### (6) 福利・厚生

衆議院共済組合国立国会図書館支部の契約する施設に加え、国家公務員共済組合連合会（KKR）の運営する医療機関、各種保養施設・宿泊施設等を組合員価格で利用できます。東京勤務者のために東京（東京都渋谷区）に代々木上原寮（独身者用）があり、京都勤務者のために京都（京都府相楽郡精華町）に京都宿舎があります。

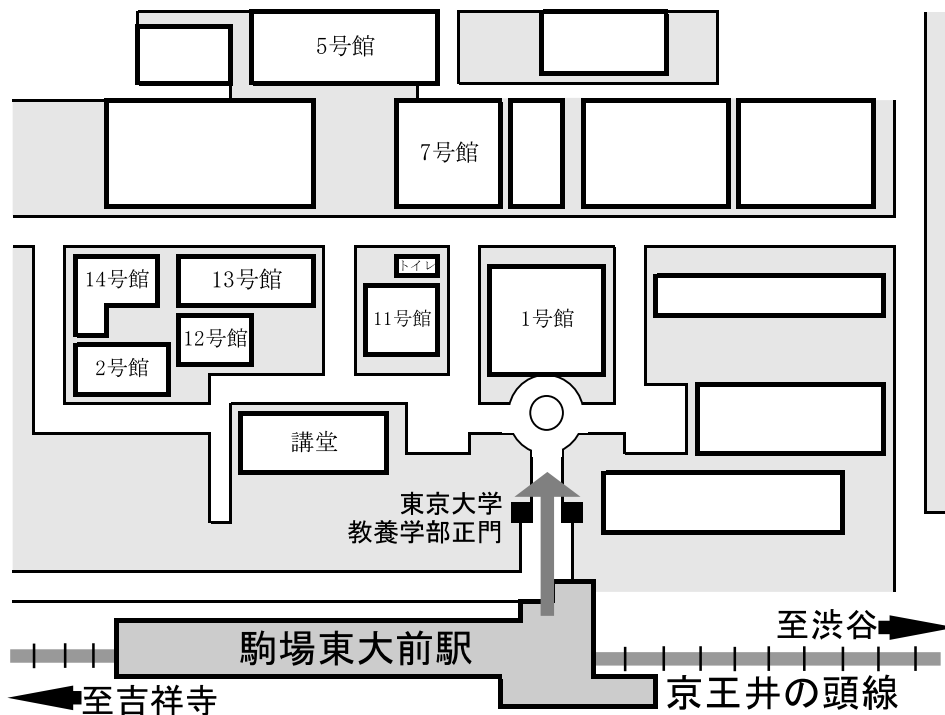
※ 当館ホームページ「採用情報」（<http://www.ndl.go.jp/jp/employ/index.html>）に最新の情報を掲載します。

## 第1次試験会場

\* 受付時間（9：10～9：45）に遅れた場合は、受験できません。

\* 利用予定の交通機関のホームページなどで最新の時刻表を確認してください。

東京大学教養学部（東京都目黒区駒場3-8-1）



・ 東京大学教養学部は、本郷校舎（文京区）ではありません。御注意ください。

・ 試験会場は13号館です。

・ 必ず正門からお入りください。

**記入要領**

(記入例)

\*

受験番号

[国立国会図書館ホームページからのダウンロード版を使用する場合]  
国立国会図書館ホームページに掲載の「ダウンロード用書類作成・提出  
要領」を必ず御確認ください。  
([http://www.ndl.go.jp/employ/h30\\_download\\_manual.pdf](http://www.ndl.go.jp/employ/h30_download_manual.pdf))

平成30年度国立国会図書館情報システム・設備専門職員採用試験

**受験申込書**

私は、平成30年度国立国会図書館情報システム・設備専門職員採用試験を受験したいので、申し込みます。  
なお、私は、日本国籍を有しており、国会職員法第2条各号のいずれにも該当しておりません。  
また、この申込書の全ての記載事項は事実と相違ありません。

平成30年 4月 5日

① 氏名 **永田 理**  
ふりがな **ながた おさむ**

② 生年月日	平成 7 年 2 月 8 日	③ 性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
④ 現住所	〒612-xxxxxx 京都府京都市伏見区xx町1-23 xynNDL405 ( 方) 電話(075)xxx-0000 携帯電話(080)□□□-△△△△		
⑤ 不在の際の連絡先	氏名: <b>永田 健</b>	電話: ( 03 ) △△△△-xxxx	
学 歴			
在学期間	学校名	学部名	学科名・専攻等
⑥ 平成 22年4月～25年3月	NDL 高等学校		卒業等の区分 (○で囲んでください) ⑥ 中退 ( 学年 )
25年4月～29年3月	京阪奈大学	工学部	⑦ 電子情報工学科 卒業・修見込・修・修見込 ・中退・在 ( 学年 )
29年4月～31年3月	京阪奈大学大学院	工学研究科	⑧ 電子工学専攻 卒業・修見込・修 ・中退・在 ( 学年 )
年 月～			卒業・修見込・修・修見込 ・中退・在 ( 学年 )
年 月～			卒業・修見込・修・修見込 ・中退・在 ( 学年 )
⑦ 身体に障害があるため、受験の際に特に希望する措置の内容			
(身体障害者福祉法の身体障害者障害程度等級表に定める障害の級 : 級)			

(注意事項)

- ・必ず記入要領を参照しながら記入してください。
- ・記載内容に不正があると受験が無効になる場合があります。
- ・現住所は、当館からの通知等の送付先となりますので、正確に記入してください。
- ・受験申込書を送付する前に、もう一度添記及び未記入箇所がないか確認してください。

**【受験申込書】**

① 各事項について確認の上、確認した日付、氏名、ふりがなを記入してください。

氏名は、**戸籍上の氏名を正確に記入**してください。

② 生年月日

③ 性別 戸籍上の性別を選択(チェック)してください。

④ 現住所、電話番号、携帯電話番号

現住所に合格通知等を送付いたします。**正確に記入**してください。

⑤ 不在の際の連絡先

**実家の御家族等の連絡先を記入**してください。

⑥ 学歴

博士課程及び修士課程の場合

・博士号(修士号)取得予定 → 「修見込」

・博士号(修士号)取得 → 「修」

・それ以外 → 「在学」又は「中退」

(単位取得中退の場合は、その旨を書き添えてください。)

⑦ 身体に障害があるため、受験の際に特に希望する措置がある方は、

その内容を記入してください。

**\*書き損じた場合は、二重線で消して訂正印を押してください。**

**\*裏面のアンケートにも御協力ください。**

(記入例)

\*の欄には記入しないでください。

*
---

受験番号

平成30年度国立国会図書館情報システム・設備専門職員採用試験

写真票

*	第1次
*	第2次

⑧ 写 真

縦4cm×横3cm、上半身・無帽・正面向き、申込前3か月以内に撮影のもの。

不鮮明、その他受験写真として適当でない場合は受理しません。

⑨ 氏名	永田 理
⑩ 生年月日	平成 7 年 2 月 8 日

⑪ 62円切手を貼ってください

郵便はがき

6	1	2	×	×	×	×	×
---	---	---	---	---	---	---	---

(住所) 京都市京都市伏見区  
XX町1-23 X/N/NDL405

⑫ (氏名) 永田 理 殿

(差出人) 〒100-8824  
東京都千代田区永田町1-10-1  
国立国会図書館総務部人事課  
電話：03(3506)3315(直通)

平成30年度国立国会図書館情報システム・設備専門職員採用試験  
受験票

*
---

受験番号

\*の欄には記入しないでください。

【写真票】

⑧ 必ず写真を貼ってください。

裏面に氏名を記入の上、裏全面にのりをつけ、しっかりと貼ってください。

⑨ 氏名

⑩ 生年月日

【受験票】

⑪ [印刷版] 必ず62円切手を貼ってください。

[ダウンロード版] 必ず通常はがき (62円) を使用してください。

⑫ 郵便番号、住所、氏名

\* 「殿」は二重線等で消さないでください。

記 入 上 の 注 意

- ① ※印欄を除く全ての欄に漏れなく記入してください。
- ② 記入漏れ、写真・切手の貼り忘れは申込みが無効になる場合があります。
- ③ 全て自筆で記入してください。青か黒の消えないインク (同色のボールペンの使用は可) で正確に、丁寧に書いてください。
- ④ 該当する事項にチェックをつけてください。
- ⑤ 数字は算用数字を用いてください。
- ⑥ 記載事項に不正があると受験が無効になる場合があります。

# 国立国会図書館の概要

## 【沿革・現況】

国立国会図書館は、旧帝国憲法時代に設けられた貴族院・衆議院の図書館と旧帝国図書館を前身として、昭和23年（1948年）、国立国会図書館法に基づき設立されました。この法律の前文には「国立国会図書館は、真理がわれらを自由にするという確信に立つて、憲法の誓約する日本の民主化と世界平和とに寄与することを使命として、ここに設立される。」とその理念がうたわれています。

当初は赤坂離宮（現迎賓館）で開館し、昭和36年に現在地へ移転、昭和43年に本館、昭和61年に新館が完成しました。情報化社会の進展とともに当館に寄せられる期待は一層高まり、平成14年には関西館、国際子ども図書館が全面開館し、規模・蔵書数ともに、世界有数の図書館となりました。

現在は、東京本館、関西館、国際子ども図書館の三施設による一体的な業務運営を行っています。

東京本館は、国立国会図書館全体を統括し、国会サービスを始め、納本制度による資料収集から一般公衆への情報提供まで、あらゆるサービスの向上に取り組んでいます。

関西館は、アジア情報の提供、来館及びインターネットを通じた文献提供サービス、電子図書館事業、図書館協力等、さらに高度な図書館サービスを展開する拠点として活動しています。

国際子ども図書館は、内外の児童書及び関連資料を広範に収集し、電子図書館機能を活用した情報提供を行う児童書のナショナルセンターとして、子どもの読書環境・情報提供環境の向上に努めています。

平成29年度の職員数（定員）は888人です。

## 【統計】

- 蔵書数（平成28年度末現在）
  - ・図書 1,095万点
  - ・逐次刊行物（雑誌・新聞） 1,756万点
- 一般公衆に対する奉仕（平成28年度実績）
  - ・来館者数 76万人
  - ・レファレンス回答 82万件
  - ・複写処理件数 155万件
- 国会に対する奉仕（平成28年度実績）
  - ・調査処理件数 4万件

## 【機能】

国立国会図書館は立法府に属する国会図書館として、また日本で唯一の国立図書館として、一般の公共図書館等とは異なるいくつかの機能を持っています。

○国会に対する奉仕  
国会議員等からの依頼に基づいて、法案等の案件の分析・評価、国政審議に必要な政治、経済、社会各般にわたる調査活動を行います。

○行政・司法各部門に対する奉仕  
各行政省庁及び最高裁判所におかれた支部図書館を通じて、行政・司法各部門に資料提供、レファレンス等の図書館サービスを提供します。

○一般公衆に対する奉仕  
広く国民一般に対し、レファレンス・サービス、館内閲覧、図書館間貸出による資料提供、来館及び郵送による複写サービス等を行います。

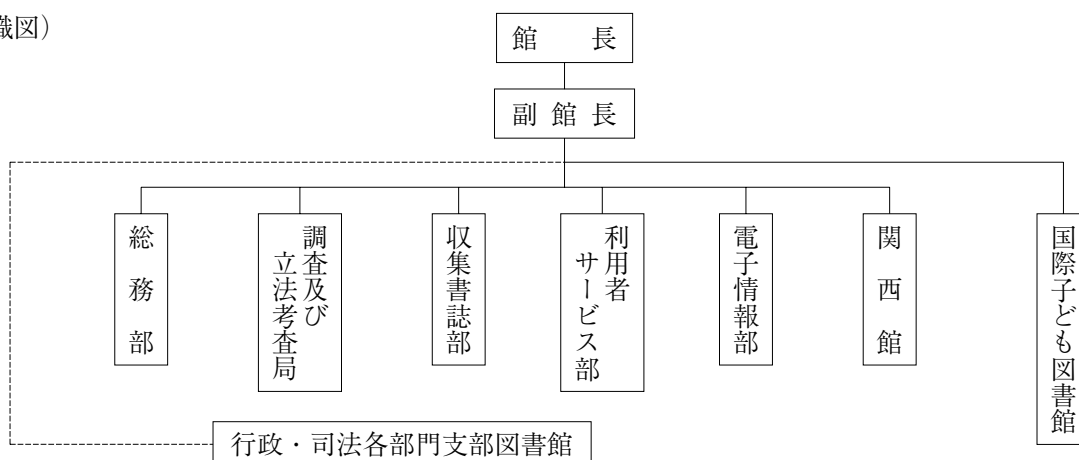
○資料の収集と保存  
国内の出版物については、国立国会図書館法に規定する納本制度により、網羅的収集に努めます。外国資料は、購入、寄贈、国際交換等により収集し、蔵書の充実をはかります。  
収集した資料を国民の文化財として永く保存します。また資料保存に関する企画、調査、研究を行います。

○資料の整理、書誌の作成  
全国書誌をはじめとする基本書誌、専門書誌、及び各種索引類を作成します。  
また、ホームページで国立国会図書館オンラインをはじめとする書誌データベースを公開しています。

○図書館協力  
国内の様々な図書館や図書館関係団体と、さらには、日本の図書館を代表して、国際機関及び世界各国の図書館と、図書館活動全般にわたる協力を行います。

○電子図書館  
資料の電子化やデジタル情報の収集・保存・提供を進めています。

（組織図）



（平成30年2月時点）

## 国立国会図書館総務部人事課任用係

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1  
<http://www.ndl.go.jp/jp/employ/index.html>

Tel 03 (3506) 3315（直通）  
03 (3581) 2331（代表）（内線 20420）